

QSK

にぬふあぶし

No.254

ね
子の方向の星(北極星)



うちなーぐち

沖縄口で作文チャレンジ

地域活動支援センターミッドリンク所長・平田嗣尚

沖縄市んかい在ゆん地域活動支援センターミッドリンクや沖福連傘下な
てい12か年なとーいびーん、ゆたさるぐとううにげーさびら。

作文やなんじゅ上手えーあらんくとう、前ーから「にぬふあぶし」ぬ原稿
書きよーさっていん「いちゆなさん、いちゆなさん」でいやーにひんぎまー
いしむがかいそーたん「まるけーて一書ちよーかんねーならんさやー」ん
ち思てい、書ちゆるくとうないびたん。(今書けーから一次ぬ申年まで一
ぬがーらするはじやっさ~)

とわー我ったーミッドリンクや地活Ⅲ型なとーいびーん、ひーじーや内職
作業さがちーあさばんちゆくていしんかぬちやーんまじゅーんいちやんら
ランチかどーいびーん、たまねー食事会、ぬーがら会んちあしでいあつちよ
ーん、あんしがスタッフや二人るうくとう参加者ぬまんどーる行事行事や車
ん運転手んたらんくとう人たぬでいるそーいびーさ、委託料んいきらさく
とうスタッフ増員ちよならんむんなー。しかたーねーんしがよー、ちやー
がらならんがやー。

うぬ地活Ⅲ型や生活支援事業やくとうんち作業所運営びかーやあいびら
んどー相談受きたいまじゅーんあつちかしーんすい「何でも屋ー」ふーじー
仕事(無差別支援、直接援助)すんちはまとーいびーさ。

くぬぐるーひーさる時期なてい体調不良そーる人ぬちやーんまんてい、か
しーすんちいちゆなさそーいびーん。

皆んあんべーきーちきていがんじゅーしみそーりよー。

Thank you so much, Bye bye, See you~ (ふりがな：増山幸司)

平成29年度九州ブロック家族会精神保健福祉研修会報告

読谷村家族会・松田静江



昨年12月5日と6日、長崎県で九州ブロック家族会精神保健福祉研修会『長崎から、精神保健福祉の未来へ～創つぞ、平和な共生社会！ 偏見も差別も、吹っ飛ばせ！～』が開催されました。参加者は約500名、沖縄県から11名、そのうち読谷村からは2名が参加。

1日目の開会式、主催者を代表して長崎県連合会会長より、「家族会の原点は『集い』『学び』『支え合い』。集う会員は、病気になった家族が体調や生活を安定させ、人間として尊重されて、その人らしく生きていける社会が出来ることを望んでいる」との挨拶がありました。

また「みんなねっと」の報告では、精神保健福祉の向上を目指して政府への要望、交通運賃割引制度の実現を国会に請願、都道府県連合会への支援など、さまざま活動を行なっているということが印象に残りました。

基調講演「平和と健康：人間の安全と国家の安全～原爆から73年の今考えること～」では、日本に原爆が落とされるまでのいきさつや、19世紀ごろにオランダや中国との貿易が栄えて長崎が大発展していくなかで、第二次世界大戦においては軍事産業が盛んになっていったこと、また戦後も被爆者が多く出て、いまだにPTSD（外傷後ストレス障害）の患者が多いのではないかなどのお話がありました。

特別演奏会として、掛屋剛氏によるピアノで、『ふるさと』、『旅愁』、『長崎の鐘』などが演奏されました。掛屋氏は視力障がい、知的障がいなどがありながら、独学で学んだその演奏と透き通った歌声に会場全体から大きな拍手が送られました。

懇親会では、各県から工夫を凝らした余興があり、私たち沖縄県一同はギター伴奏つきで『一人の手』を合唱しました。最後は、会場からの掛け声でカチャーシーをみんなで踊り、懇親会は大いに盛り上がりました。

翌2日目、第1会場が「家族会のこれから」の基調講演と、「ありのままで住める共生社会を目指して」のシンポジウム、第2会場が「家族による家族学習会担当者研修会」。私が参加した第2会場では、家族会による家族学習会の実施マニュアルに沿って、3グループに分かれリーダー・コリーダーを決め、テキストを全員で輪読しながら確かな知識を共有しました。その後、グループ内で家族の体験や、感想をひとりずつ発表し合い、学習会の方法を実践しました。

最後に、この研修会に参加してあらためて家族会の大切さを感じるとともに、医療や福祉、障がい者の住みよい環境づくりを目指して家族会が元気になることが必要だと思いました。ひとりでは悩まない、悩んでいる人をひとりでも多く家族会に参加させてあげたいと感じました。この家族学習会を、読谷村でも早く実践していきたいと思います。ありがとうございました。

ーみんなネット九州（長崎）大会に参加してー

てるしのワークセンター・田場美智江

路面電車が走る通り、緑深い山を背景に豪華客船が停泊する港、和・洋・中が混在する街並み、坂の上にある教会、世界屈指の夜景、見るものすべてが新鮮かつ自分の中に何かを問いかけてくるような空気を纏^{まと}っていた。そう思うのは、この土地が持つ悲しい過去を知るせいなのかもしれない。

こんなふうに感傷的になったのは束の間、12月5日・6日に開催された長崎大会に添乗員の大役を担って参加した私、土地勘も無いうえに家族会の大先輩方を前にして緊張しっぱなしだったが、人間寝食を共にすると不思議と連帯感が生まれてくるもので、帰沖する頃には同窓会を開こうという運びにまでなっていた。それは今回の大会で得たものが大きく、ここで終わるのは名残惜しく、情報を共有した仲間でもっと意見を交換したいという気持ちからだと思う。

懇親会では高齢化する家族会が、問題に直面しながらも楽しんでいるパワーの凄さ、横のつながりの強さを感じた。シンポジウムに参加していた、しゃくなげ会（諫早市）会長の「本人さんたちを地域で暮らせるようにする為には親離れ、子離れが大事」という言葉が、子を持つ親すべての問題に共通しているようで、私の中に強く残っている。



お知らせ

◎入院患者の退院支援(外出・外泊お手伝い) 電話:098-889-4011
◎弁護士による法律相談 3月13日(火)14~16時 場所:てるしの

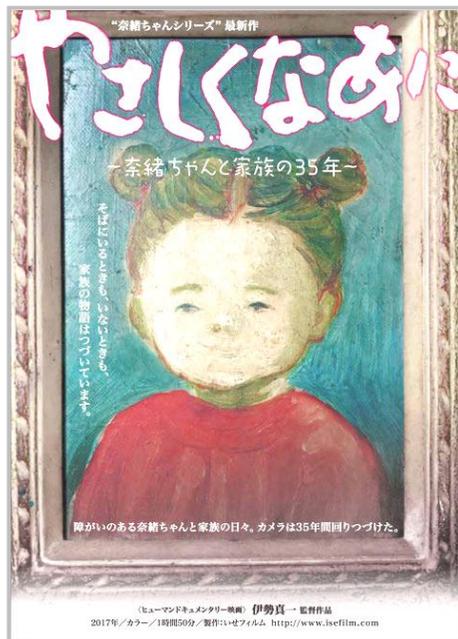
『やさしくなあに～奈緒ちゃんと家族の35年～』

『やさしくなあに』は、家族の映画です。

天真爛漫な長女、奈緒ちゃん。
やさしくて働き者のお母さん。
お酒とゴルフが大好きなお父さん。
スポーツ万能で心やさしい弟。
どこかで見たことのあるような台所やリビング。
いつもの会話、いつものやりとり。
そして、家族の誰かや自分の悩み……。

『やさしくなあに』は、家族の映画です。
観た人はきっと、
自分自身の家族との日々を思い返すでしょう。
笑ったり泣いたりしながら営まれる家族の日々を、
カメラは35年間、丁寧に記録しつづけてきました。

この映画は、私にとっても家族の映画です。
主役は姪っ子の奈緒ちゃんとその家族。
テーマ曲は姉・西村信子(奈緒ちゃんのお母さん)、
チラシの絵は亡き母・木島浜子、
亡き父・伊勢長之助(記録映画編集者)と関わりがあるスタッフもいます。
題字は、伊勢真一……。
我が家族と仲間たちで創った、家族の映画です。(演出・伊勢真一)



日時 3月18日(日)

●13:00 開場 13:15～ (1回目)

●15:15 開場 15:30～ (2回目)

料金

一般……………1,000円

当事者・学生……500円

会場 豊見城市中央公民館 中ホール
(豊見城市字平良 467-1)

**問い合わせ
ご予約**

090-1949-9803 (宮里)

090-1818-8129 (小林)

090-7479-7709 (仲本)

arumunjyukui@icloud.com (有谷)

◎編集後記◎

イソヒヨドリを沖縄の言葉で、
スーサーというようです。家のな
かに入るとよくない鳥、とも言わ
れているらしいのですが、人なつ
こいというのか、警戒心の薄い鳥
で、よく人間の近くに下りてきて
は背筋を伸ばしてなにかを探し
ています。雛鳥に餌を運ぶたび、
かわりに巣からゴミを持っていく
ツガイを撮った動画があって、
ちょっとおすすすめです。(ま)

編集：公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会
会長 山田 圭吾

〒901-1104 南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0024 福岡市博多区綱場町 1-17

福岡パーキングビル 4階

電話 092-753-9722 FAX092-753-9723

定 価：10円(会費に含まれる)